

教科ごとにどうすればいい？ 出題の傾向と対策

数学

前半に配点の低い基本問題、後半に配点の高い応用問題がある。後半ができないとかなり危険。20~30点を失うことも…

基本問題は日常から練習しておく。そうすれば試験前に応用問題をす
る時間と余裕ができる。学校から試験対策としてもらうプリントは基
本問題中心なので、そんなプリントは早めに終わらせてしまおう。



英語

教科書内容がカンペキでも高得点は難しい。
リスニングと英作文の配点が高い。初見の読解問題も出るぞ！



まずは教科書の英文をまるまる覚えるぐらいに慣れておくこと。それ
だけで70点は確実に取れる。最近ではリスニングや英作文の割合が非常
に多い。だから教科書の文法を使って自分で英文を作る練習が必要だ。

国語

満点を取れるようには作られていないので、いかに点数を逃さないかが
ポイント。漢字・語句での得点は結構大きい。

授業をちゃんと聞いていれば「ああ、ここ試験に出そうだな」という
ポイントがわかる。漢字などは日頃からしっかり練習すれば大量得点
がのぞめる。試験前は読解問題や過去問題で出題の傾向をつかもう。



理科

高校入試問題レベルに近いものがフツーに出題されることも。
語句の暗記だけでは不十分。文章問題に慣れておこう。



意外とやっかいなのは文章問題。計算方法や語句はわかっているも、
文章問題で問われると解けない生徒が多い。実験や観察の説明を読み
取る練習をすべし。授業のプリントからの出題も多いぞ！

社会

地理・歴史・公民とも先生の趣味がよくあらわれる。
問題数が多いので、できるものからテキパキ解くことが大切だ。

どの学校も社会の先生はマニアな人が多い。授業中に先生が何気なく
話したエピソードや、ビデオで見た内容から出題されることも。試験
前は1問1答式の練習で覚えるまでやりこもう。

